

第53回（令和6年度）全国豆類経営改善共励会受賞者紹介

第53回「全国豆類経営改善共励会」が開催され、東北管内では、山形県天童市の株式会社おしの農場が大豆家族経営の部において、農林水産大臣賞を受賞しました。

同社は、実需の求める品種を選定していること、高単収かつ品質面で優れていること、排水対策の徹底、地力維持対策等が高く評価されたことに加え、スマート農業技術の導入による効率化や営農支援システムを活用した肥培管理や作業の合理化を図っていることは「特筆すべき」との評価をいただきました。また、同社は「スマート農業技術活用促進法」に基づく「生産方式革新実施計画」の全国第1号の認定を受けています。

全国豆類経営改善共励会とは・・・

経営規模拡大や生産コスト低減、収量・品質の向上による所得の向上等に取り組み、豆類生産の経営改善の面から先進的で他の範となる経営体・生産集団を表彰しています。令和6年度は、全国から178件（うち東北から19件）の応募がありました。

受賞者の単収・等級比率等	
部門	大豆 家族経営の部
褒賞	農林水産大臣賞
受賞者	株式会社おしの農場
所在地	山形県天童市
単収	279kg/10a
県単収	130kg/10a
県単収比	215%
等1等	99.5%
級2等	0.5%
比3等	—%
率	特定加工用等
	—%



自動操舵システムで効率化と省力化を図る



ドローンを活用した作業で過剰な農薬・資材散布を防止



全国表彰受賞者の皆さん（於：J Aビル）

前列中央と向かって右隣が押野様御夫妻

出典：R6年度全国豆類経営

改善共励会成績概要から 成績概要はこちら：<https://pr.agrinews.co.jp/archives/1940> →



事例集はこちら：<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/daizu/attach/pdf/index-13.pdf> →

【問合せ先】：東北農政局 生産部 生産振興課 022-263-1111（内線4087、4426）

地域からの便り



棚田地域における取組と課題解決に向けて
—宮城県・栗原市—（2025年9月5日掲載）



国の「指定棚田地域」にも登録された栗原市若柳上畑岡にある蓬田（よもぎだ）の棚田では、農地の保全活動や尚絅学院大学（名取市）と連携した田植え、稲刈り、収穫祭などの交流事業、棚田の魅力を発信するフォトコンテストなどさまざまな取組が行われています。また、若柳蓬田集落協定では中山間地域の高齢化や人手不足等の課題解決に向け、リモコン草刈機の実演会等棚田でのスマート農業の知見を深める取組にも着手しています。



多くの人が参加した田植え交流会（令和7年5月）



リモコン草刈機実演会（令和7年6月）

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。

地産地消でジェラートは無量大

—秋田県・横手市—（2025年9月5日掲載）



横手市のジェラート専門店「GELATERIA SHEETA（ジェラテリア シータ）」では、横手市産を中心とした農産物や農家が提供してくれる規格外品を素材として積極的に活用し、素材本来の甘さを生かしたジェラート作りにこだわっています。店をオープンしてから今年で4年目となり、福祉就労支援、学生支援等の取組も意欲的に行っており、地元のイベントや観光協会主催のまちおこしなどで提供するオリジナルジェラートの製造も手がけています。



マネージャーの高橋麻衣子さん



桃のジェラート：シングル（組合せ豊富なダブルもできます）

10月は食品ロス削減月間です

10月は「食品ロス削減月間」、
10月30日は「食品ロス削減の日」
及び「全国一斉商慣習見直しの日」
です。

食品事業者や自治体による消費者啓発の取組事例や、
納品期限の緩和、賞味期限表示の大括り化等の商慣習
の見直し、フードバンク、子ども食堂等への食品提供
に取り組む企業を、10月に農林水産省のHPで公表し
ます。

食品ロス削減月間に関する情報は、こちらから
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/201014.html

**東北地方食品ロス削減・食品アクセス確保連絡会の会員募集中**

東北農政局では、食品ロス削減
及びフードバンク活動等の普及啓
発を図るため、連絡会を設立して
います。本連絡会では、食品関連
事業者、フードバンク団体、物流
事業者、社会福祉団体、行政機関
などの会員を募集しています。

連絡会に関する情報や入会の手続きは、こちらから
<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuri/index.html>

【問合せ先】：東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課 022-221-6146（内線4375）

**農村振興に関する優良事例****農村RMO形成推進事業**

【農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）】

- ◆対象地域：過疎、特定農山村、振興山村法等の指定地域、農林統計上の中山間地域 ※地域別農業振興計画に位置付けられていること
- ◆事業実施主体：複数集落を含む地域協議会（※集落の単位は、農林業センサスの農業集落）
- ◆交付率：一般型：定額（1,000万円※（年基準額）×事業年数、実施期間：最大3年間）※地域計画連携タイプは年基準額1,200万円
活動型：定額（200万円（年基準額）、実施期間：1年間）

農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）を活用した事例

小学校の閉校を機に、地域のみんで廃校の活用を核とした地域の活性化（岩手県奥州市）

事業実施主体：伊手農村農業活性化協議会（令和4年度～6年度）

江刺伊手地区では、地区唯一の小学校の
閉校を機に地域のみんで地域活性化につ
いて考える取組を開始し、遊休農地及び担
い手不足等の解消方策、廃校となった小学
校を活用した地域の賑わい創出、買い物支
援や通院支援等の交通弱者対策など、地域
の課題解決に向けた将来ビジョンを策定し、
その実現に向けた各種の事業マネジメント
を担える地域運営組織（農村RMO）を目
指し活動しています。

農用地保全

地域農業アクションプランの実現
（土地利活用方策検討のための現地調査）

地域資源活用

旧伊手小学校を地域活性化の拠点に
（サマーキャンプ等の実施）

生活支援

地域コミュニティの維持
（交通弱者支援のための実証）

農山漁村振興交付金（農村型地域運営組織（農村RMO）に関する詳しい情報は、農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/nrmo/index.html>

問合せ先：東北農政局農村振興部農村計画課 電話：022-263-1111（内線4062、4123）



◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111（内線4076、4402）

**高病原性鳥インフルエンザに注意！
渡り鳥シーズンへの備え****◎野生動物の侵入防止対策はできていますか？**

農場内の整理・整頓を行い、防鳥ネットや壁に穴が開いていな
いか、屋根裏や入気口といった普段目が届きにくい場所などを再
点検しましょう。

◎家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか？

消毒等が適切にできているか、動線が交差していないか確認し、
全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。

家きん舎の周囲には、**ウイルスの侵入経路が多く存在して
います。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止の
ため、今一度、点検・確認をお願いします。**



鳥インフルエンザに
関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！**◎野生動物対策はできていますか？**

農場を囲う柵の設置し、農場邊緣等で野生動物が隠れる場所を
作らないようにしましょう。

◎人・車両・物品の衛生対策はできていますか？

人・車両、物品の洗浄・消毒、農場内等では衛生的な長靴・専
用の衣服を着用しましょう。

アフリカ豚熱は
そこまでできています！

豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱情報
はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



↑目的の二次元コードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元
コードを隠した状態で読み込んでください。